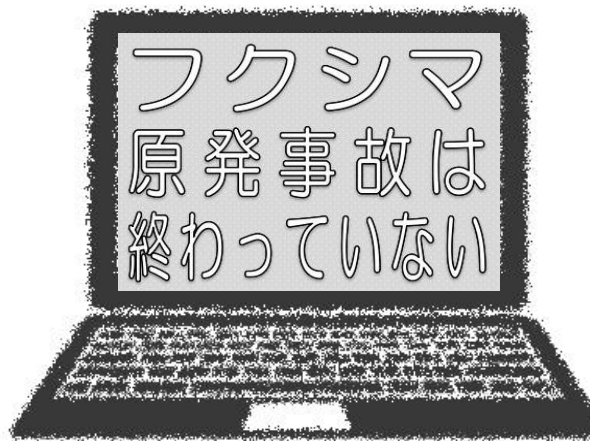


さようなら 原発



10・23 オンライン集会+シンポジウム

2021年10月23日(土)

全電通労働会館ホール (定員 220名)

13:00~14:00 第1部 集会

主催 あいさつ 鎌田慧さん(呼びかけ人・ルポライター)

訴え フクシマから

福島原発刑事告訴裁判

避難者の現状と課題

東海第二原発差止め裁判

エネルギー基本計画の問題点

気候危機と脱原発



14:00~15:00 第2部 シンポジウム

「問題だらけ! トリチウム汚染水の海洋放出」(仮題)

パネラー 後藤政志さん(元原発技術者)

佐藤和良さん(いわき市議)、ほか

東京都千代田区神田駿河台3-6

JR「御茶ノ水駅」徒歩5分/地下鉄千代田線「新御茶ノ水駅」徒歩3分、都営新宿線「小川町駅」徒歩6分、丸の内線「淡路町駅」徒歩7分

*会場での参加・視聴することはできませんが、定員(220名)になり次第、入場を締め切らせていただきます。よろしくお願い致します。入場無料。

*さようなら原発ホームページの「さようなら原発オンライン集会」からご参加ください。

<http://sayonara-nukes.org>



福島原発事故から早くも10年が経ちました。世界に類を見ない巨大事故は、廃炉の行方も見えない中で、ALPS処理水(汚染水)の海洋放出に向けて、国・東電は強引に事を進めています。再び福島の海を放射能で汚染しようとしています。また、福島原発事故の反省と教訓を生かすことなく、政府は第6次エネルギー基本計画を策定しようとしています。そこでは2030年までに、原発30基の稼働が

目論まれています。中でも40年超の原発を動かすことが前提とされています。原発・核燃料サイクルの推進を掲げる自公政権は、原子力政策の延命を図ろうとしています。

しかし福島原発事故以降、原子力をめぐる国内外の環境は大きく変わり、原発廃炉の時代を迎え、世論の多くは原子力からの撤退を求めています。いまこそ「さようなら原発」の声を上げ、各地から脱原発のうねりをつくりあげ

ましょう。

「さようなら原発」は、毎年春と秋を中心に全国集会・首都圏集会を呼びかけてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症が各地に拡大し、緊急事態宣言地域も東京をはじめ各地に広がっています。ここで、脱原発への動きを止める訳にはいきません。今回、屋外での開催を見合わせ、オンラインを使っての集会としました。ぜひ多くの方々の視聴をお願いいたします。

主催 「さようなら原発」一千万署名 市民の会

大江健三郎 落合恵子 鎌田慧 坂本龍一 澤地久枝 瀬戸内寂聴

協力 戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

連絡先 さようなら原発 1000万人アクション事務局

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1階 原水禁気付

TEL.03-5289-8224 Email sayonara2nukes@gmail.com

<http://sayonara-nukes.org> (「さようなら原発」で検索)

●集会賛同のお願い●

本集会に賛同をお願いいたします。賛同をいただいた方のお名前を、さようなら原発のホームページに掲載させていただきます。郵便振替用紙の通信欄に「さようなら原発集会賛同」と明記のうえ、下記にお振り込みください。

口座番号 00100-8-663541

加入者 フォーラム平和・人権・環境

▶ 個人1口 1,000円 ▶ 団体1口 3,000円